

研究交流クラブ第216回定例会

「第16回わかしやち奨励賞」優秀提案発表会

(愛知県若手研究者イノベーション創出奨励事業)

第34回中部科学技術交流会

【主催】

愛知県

(公財)科学技術交流財団

(公財)日比科学技術振興財団

(公財)中部科学技術センター



お申込みはコチラ↑

# イノベーションで未来に挑戦

新たな付加価値の源泉を創造

オンライン+会場

基調講演

## 「DXの本質とは何か

「どうすればうまくいくか」

YRPユビキタス・ネットワーキング研究所 所長

TRONフォーラム会長

東洋大学 情報連携学部(INIAD)学部長 教授

坂村健氏

2022.1.27 Thu

日時 2022年1月27日(木) 14:00~

形態 オンライン+会場開催(参加無料)

会場 ホテルメルパルク名古屋  
(名古屋市東区葵3-16-16)

定員 オンライン200名、会場40名  
※定員になり次第 締め切ります

# イノベーションで未来に挑戦

～新たな付加価値の源泉を創造～

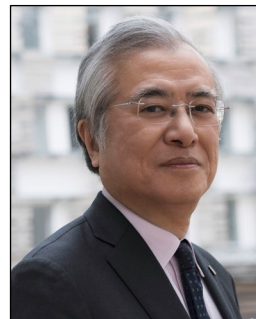
## 基調講演: 「DXの本質とは何か —どうすればうまくいくか—」

YRPユビキタス・ネットワーキング研究所 所長 東洋大学 情報連携学部 学部長 教授 坂村 健氏  
TRONフォーラム 会長

現在、世界的にブームになってきているDX(デジタルトランスフォーメーション)は従来の「情報化」や「デジタル化」とは全く異なるものである。DXの考え方と背景にある技術動向——さらには哲学やマインドセットといったものについてお話する。それらに一貫して流れる哲学——今までの考え方との違いを理解していただければ、あらゆる組織でDXをうまく進めるきっかけになると思う。

1951年東京生まれ。INIAD(東洋大学情報連携学部)学部長、東京大学名誉教授。

1984年よりオープンなコンピュータアーキテクチャTRONを構築。現在TRONは米国IEEEの標準OSとなり、IoTのための組込OSとして携帯電話の電波制御をはじめとして家電製品、オーディオ機器、デジタル機器、車のエンジン制御、ロケット、宇宙機の制御など世界中で使われている。2015年情報通信のイノベーション、促進、発展を通じて、世界中の人々の生活向上に多大な功績のあった世界の6人の中の一人として、国際電気通信連合(ITU)より「ITU150アワード」を受賞。他に2006年日本学士院賞、2003年紫綬褒章。著書に『DXとは何か』、『IoTとは何か』(角川書店)、イノベーションはいかに起こすか』(NHK出版)など多数。



坂村 健氏

プログラム	14:00 ~ 14:05	開会
	14:05 ~ 15:15	基調講演: 「DXの本質とは何か —どうすればうまくいくか—」 東洋大学 情報連携学部 学部長 教授 坂村 健氏
	15:25 ~ 15:45	「第16回わかしゃち奨励賞」表彰式
	16:00 ~ 17:00	「第16回わかしゃち奨励賞」優秀提案発表会
	17:00	閉会 <span style="color: green;">※ オンラインの方はここで終了となります</span>
	17:10 ~ 18:10	交流会 (会食なし)

### 開催情報 / 申込み

- 日時: 2022年1月27日(木) 14:00~17:00
- 形態: オンライン + 会場開催 (いずれも参加無料)
- 会場: ホテルメルパルク名古屋 (名古屋市東区葵3-16-16)  
地下鉄東山線千種駅1番出口より徒歩1分
- 定員: オンライン200名、会場40名
- 申込ページ: <https://astf.jp/club/teirei/>
- 期限: 上記申込ページより **2022年1月20日(木)まで**にお申込みください



も  
お申込み可能です

**重要** オンライン、会場共に、締切後に事務局から送付する「参加確定メール」が無いと参加出来ません。**1月25日(火)の時点でメール未着の場合は必ずお問合せ下さい。**

### 参加方法

#### オンライン

- ・ 締切後に事務局から送付する「参加確定メール」にて参加方法をご案内します。
- ・ オンライン参加にはビデオ会議システム「Zoom」(<https://zoom.us>)を使用します。  
**インターネットに接続され、動画視聴可能なPCまたはスマートフォンが必要です。**

#### 会場

- ・ 締切後に事務局から送付する「参加確定メール」にてQRコード付き参加票をお送りします。  
**来場時はQRコードを必ず持参してください。**(参加票、またはスマートフォン画面)  
※発熱、倦怠感、味覚異常など 体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください  
※マスクの着用、手洗いの徹底など感染症予防にご留意ください

【お問い合わせ先】

多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

公益財団法人科学技術交流財団 研究交流クラブ担当 ☎ research@astf.or.jp ☎ 0561-76-8325